

日本の食料について考えてみませんか!

～持続可能な農産物の生産を目指して～

このリーフレットは、みんなが幸せに暮らしていける地球にしていけるために、よりよい社会の実現を目指す世界共通の目標である「SDGs」の視点から、農産物の生産や消費者の行動について、家族みんなで考えていただくきっかけになればという思いで作成しました。

〔SDGs (エスディーズ) とは〕

「持続可能な開発目標」。簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を2030年までに解決していこうという計画・目標」のことです。

目標は、17設定されています。

この17の目標のうち

2の「飢餓をゼロに」

13の「気候変動に具体的な対策を」



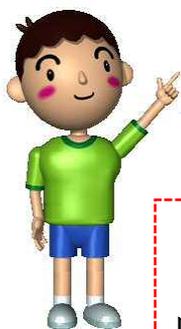
この2つの目標について、農産物の生産や消費者の視点から考えてみましょう。

2 飢餓を
ゼロに



テーマ2 「飢餓をゼロに」

- ◆世界では8億人を超える人が飢餓に苦しんでいます。
- ◆世界の10人に一人が栄養不足です。



世界で多くの人が苦しんでいる中、日本では年間約523万トンの食べ物をすてているんだよ。

年間523万トンは、東京ドーム4杯分を上回り、国民1人当たり約42kgになります。
(国民1人当たりの米の消費量は年間約51kgです。)



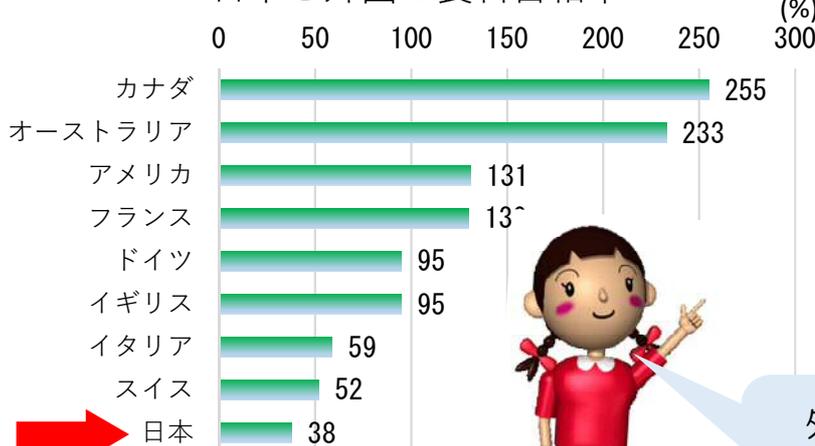
たくさんの方が、心をこめて作ったのになー

◆一方、国内で消費される食べ物が、どれくらい国内で生産されているかを示す割合、食料自給率は38%です。

◆日本は、食べ物の約6割を外国から買っていることになります。



日本と外国の食料自給率



◆世界の国を見てみると、カナダが255%、オーストラリアが233%となっていて、日本の自給率が低いことが分かります。

◆日本の食料自給率は、近年40%くらいで大きな動きはありません。



外国から多くの食べ物を買っているのに、あんなにすてているのは、何かへんだな？

《食べ物を入力に頼っているけど、こんな時はどうなるの？》

- 戦争などが起きたときは、日本へ持ってこれるのかな？
- 世界の人口が増え続けているけど、これからも外国から買うことができるのかな？
- 外国で天気が悪くて、収穫ができなかったときはどうなるの？

日本の人が食べる食料を、外国から「安く」、「いつでも」買うことができる保証はありません

世界中のだれもがおいしいものを安心して食べ続けるために、食べ物に対する考え方を少しでも変えていけば、食べ残しや食料自給率の問題も解決できるかもしれないね。このことが「飢餓をゼロ」につながっていくのかな。



○ 農産物を生産するのに必要な、肥料原料や家畜のえさのほとんどを外国から輸入しているため、これらを運ぶ時も多くの燃料を消費し二酸化炭素を出しています。



13 気候変動に
具体的な対策を



テーマ13 「気候変動に具体的な対策を」

- ◆日本の平均気温は、上昇を続けています。令和2年は最も高い気温でした。
- ◆雨の量も増加し、集中豪雨、災害も多く発生するようになりました。



この主な原因は、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出が増えているためです。



生活していると、いろんなところから温室効果ガスは発生しています。農業で農産物を作るときも、発生しています。

農業機械やハウスの
暖房などの燃料消費

で1,855万トン

二酸化
炭素

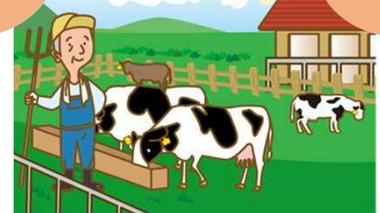


家畜の糞尿の管理や
牛のお腹（ゲップ）

から1,386万トン

一酸化
二窒素

メタン
ガス



いっさんかにちっそ
一酸化二窒素

メタン
ガス



すいでん
水田から
1,200万トン

農林水産業で発生する温室効果ガスは、約5千万トンで、日本全体の全排出量（約11.5億トン）の4.4%となっています。（2020年度）

農林水産業でも色々な取り組みを始めています。

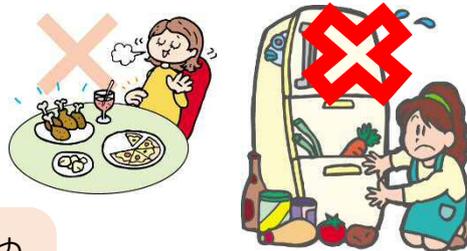


【農林水産業での主なとりくみ】

- 新しい技術を取り入れ温室効果ガスを出さないようにします。
 - 環境への影響を少なくするため、化学肥料・農薬の使用量を減らします。
 - 環境への影響が少ない、有機農業の面積を100万haに広げます。
- これらのとりくみを「みどりの食料システム戦略」と呼んでいます。

問題^{かいけつ}を解決し、みんなが幸せに暮らしていくために
みなさまへのお願い ～食べることで、できること～

○ 食品ロスの約半分は家庭から出される食べ残しなどです。食べきれぬ量だけを買って、すてないでいいようよう心がけましょう。



○ 有機野菜をはじめとした、環境にやさしい農業で作られた農産物を見かけたら、ぜひ買ってみてください。

○ 地元産・国内産の食べ物をえらんで買って、生産者を応援しましょう。



みんなが国産の農産物を選ぶと、国内での生産が増えて食料自給率は向上します。
～次のなかの一つの取組で食料自給率1%に相当します～

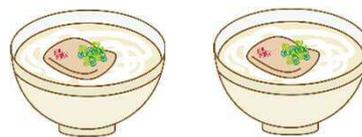
ごはんを毎日、もう一口多く食べる



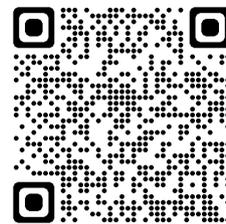
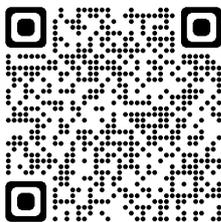
国産の米粉で作ったパンを月にもう6枚多く食べる



国産小麦100%使用のうどんを月にもう2玉多く食べる



農林水産省が作成した動画・パンフレットもご覧ください



今後の取組の参考とするため、ご意見をお聞かせください。
こちらのQRコードからお願いします。

QR
コード

連絡先
農林水産省
九州農政局熊本県拠点
直通 096-300-6020